

朝霞地区保護司会
総務部会活動報告

総務部会副部長 加山 茂夫

平成二十八年度の部会研修会は、主となる「保護司だより」の発行にあたり十二月十五日(木)に志木市「ふれあいプラザ」において部会長他十六名が参加して(有)ニユータイムズ社岩下隆氏の講演で「会報の作り方について」を一時間にわたって講義を受けました。

機関誌を発行するにあたって①その役割を広く人々に知らせ理解と協力を求める。②文章作製テクニック、何の為に書くのか、だれに読んでもらうのかを正しく伝える。同じ言葉が何度も繰り返し出てきていないか③良いレイアウト作成、編集のポイントとして、大きなニュースを中央に置き見開きで特集を組んでみるなど、何度も企画編集会議を行う。

以上教えていただいた講演で、どれだけの成果が出るのか、第四号の



「保護司だより」が向上している事と思っています。その後に志木駅前の居酒屋へ移動しまして濱岡会長を交え部会の懇親会を、おいしいお酒と鍋を囲んで会員の親睦を図りました。



研修部会報告

研修部会部長 佐藤 秀弘

平成二十八年度は左記の研修活動事業を行いました。

平成二十八年六月十四日(火)新潟刑務所を視察研修しました。収容者はおおよそ千名ほどで、六時半起床、二十一時就寝で、規則正しい一日の動作時間が決められていました。多くの収容者が懸命に作業に取り組み、社会復帰を目指しているのが印象的でありました。

視察研修参加者は四十六名でありました。

平成二十八年十月六日(木)に保護司就任四年未満の新任保護司研修会を実施しました。

研修場所として、さいたま市にある更生保護法人「清心寮」で行いました。この施設は刑期を終えた人や被保護者に対する宿泊所の提供、生まれ故郷の帰住の斡旋や金品の給付や貸与等日々の生活の相談等を行ったりしています。



部会の参加者は十六名でありました。

平成二十八年十一月九日(水)志木市民会館バルシェイで、朝霞地区保護司会・更生保護女性会合同研修会を実施しました。

講師は元警察官、少年補導専門官として長きに渡り勤務されていた小野寺百合子氏をお招きし「すべての子どもたちの幸せを願って」と題して講演を行いました。参加者は更生保護女性会四十五名、保護司二十名でありました。

犯罪予防部会報告

犯罪予防部会部長 山口 六男

部員は二十一名で構成されています。平成二十八年度より朝霞地域内の老人介護施設にて社会貢献活動を実施しています。ボランティア団体「ひまわり会」として、天気の良い日に入居者を車椅子で散歩、買い物などの補助、施設内での、お風呂掃除やロビー等の清掃、屋外では、中庭などの掃除を対象者ともに行っています。朝霞地区会長と部会長で担当保護司として登録し活動してきましたが、部員の方にも社会貢献活動ができないか、担当主任官に相談し、部会を開催しました。趣旨を説明、出席部員の賛同を得ましたので、平成二十九年度より担当保護司として登録し、社会貢献活動を当番制で、年六回奉仕活動を実施する予定です。社会を明るくする運動ですが、以前は各支部持ち回りで市民会館で、講演や地域で活躍している青少年のダンスや和太鼓など披露してきましたが、社会を明るくする運動は、非行・犯罪の予防が趣旨のため、理事会で一般の方に広く運動を知ってもら

う為に各市の駅前にて更生保護女性会等の協力をいただき、朝霞保健所より薬物乱用防止の冊子や販促品の提供を受け、保護司会で作製した啓発物・ペットボトルを配布し啓発活動を実施することになりました。社会を明るくする運動を、二・三年後に市民会館で開催する予定です。各支部におきましても独自に計画をたて市や各団体などの開催「市民祭り・商工祭り・福祉フェスティバル・お祭りなど」また青少年育成会議・更生保護女性会・民生委員などの会合などに出席、犯罪予防・薬物乱用防止などの広報活動を実施しております。各支部には朝霞保健所より薬物乱用防止指導員として委嘱を受け、朝霞保健所管内の、高校、中学校、小学校で薬物乱用防止教室を開催、薬物・タバコ・アルコール・くすりなどが、どのようにして身体に作用・影響を与え害なのかを担当した事例をあげ、薬物乱用の恐ろしさ「ダメ・ゼッタイ」の講演しております。六月には厚生労働省主催で朝霞保健所が主となり「ダメ・ゼッタイ」キャンペーンを北朝霞駅前で部会員も参加し薬物乱用防止の啓発活動を行っております。

協力組織部会報告

志木支部 細田 和子

部会が設置され三年目が終わろうとしています。活発な働きかけもせず月日が流れ反省しております。初年度は協力事業主の登録に力を入れ数件事業主の方とお会いし、登録頂きました。今後は、他の保護司の方々の参考になるような資料の完成を目標としていきます。

更生保護女性会とは昨年の研修会において準備等のお手伝いができました。今後は内容の充実を計り、各部員が認識できるようなくみ作りが課題です。

今年はBBS活動の発足が目標です。四市の考え方が一つにならず上手く進めません。この活動は他の地区も活発な所は少なく時代の変化を感じます。私達の活動の役に立つ内容に近づきたいものです。



部会の名称と活動内容

総務部会

- ①総合調整的な業務
- ②広報活動、機関誌の発行に関する業務
- ③功保会・関係諸団体・サポートセンター等の調整に関する業務
- ④その他

研修部会

- ①研修業務
- ②定例研修への協力・自主権集・県外研修の企画に関する業務
- ③その他

犯罪予防部会

- ①地域犯罪予防活動・社会資源開拓推進活動に関する業務
- ②社明大会・薬物乱用防止・学校との連携に関する業務
- ③その他

協力組織部会

- ①就労支援に関する専門業務
- ②更正保護に協力する組織の育成、協力に関する業務
- ③女性会・BBS会への協力
- ④その他



4市の支部活動



朝霞支部
支部長 佐藤 秀弘

朝霞支部は現在二十八名が保護司として委嘱されている。二十八年度の支部の主な活動は、四月に朝霞市長、社会福祉協議会長臨席の中での総会。八月に五十万人の人々で賑わう彩夏祭の準備や前後の清掃をしました。当日の迷子係りを担当した。十一月に総合福祉センターで行われる「はあとぴあふれ合い祭り」に出店し、多くのひとのふれ合いをしました。

三月に黒目川の清掃活動に参加し、他団体との交流に努めました。年三回市役所会議室にて、午後六時より、各保護司が持ち回りで面談し処遇した事例を踏まえて意見交換をし、今後のより良い処遇の在り様を勉強しました。

また各中学校区での挨拶運動に参加したり、学校の卒業式に出席している保護司もいます。

毎年七月に全国で行われて

いる社会を明るくする「社明大会」の啓発活動として、朝霞駅南口、東口、北朝霞駅、朝霞台駅頭にて、朝霞の水のペットボトル「朝霞水」三千本をパンフレットと一緒に配布し、広報をしました。



和光支部
支部長 木田 亮

支部定例会は、会員が現在担当している、ケースの事例研究やビデオによる研修が主なものであり、研修はそれぞれの問題点や苦労した内容を取り上げ、意見交換をする事により、対象者に対応する保護司のあり方を研修いたしております。また、年に一度の市立中学校長との交流は十数年続けております。

平成二十九年度からは、これまでの事業に加え、活動の視点を変えた更生保護事業や更生保護団体との連携に向けた事業の推進に努めてまいりたいと考えております。特に、支部の更生保護女性会・BBS会・協力企業主の皆さんとの連携を深め、新たな活動の場の構築が出来ればと考えております。それぞれの会の独自性を尊重しながら協議し懇親を深め、和光市の更生保護活動に貢献できればと思います。

少子高齢化や価値観の多様化等社会の変化に伴い、事件や対象者の対応が難しくなってきた状況の中、更生保護事業の理解を深め、各種団体等と連携を深めながら、犯罪のないまちづくりに努めてまいりたいと思います。



志木支部
支部長 柴崎 英雄

志木支部会の報告をさせていただきます。現在、志木支部においては、十六名の保護司で、更生保護活動をおこなっています。

二十八年度におきましては、七月に社明大会の一環として、志木駅前広場において社明運動キャンペーンを、香川志木市長、宗岡第二中学校の先生・生徒の皆さん、更生保護女性会等、多くの方々の御参加をいただき、啓発物を市民の方々に配布し、実のあるキャンペーンが出来たと思います。

夏休みに入る直前には、市内にある四つの中学校を訪問し校長先生と面談させていただきました意見交換をしました。先生方には、現在における問題点等話していただいたり、大変有意義でした。

又、夏祭り、市民まつりの際には、他の団体と共に、防犯キャンペーンに参加し、犯



罪防止の啓蒙運動積極的に行なっています。

この様な事業が、我々一人一人にとって、更生保護活動をしていくうえで、大きな力となっておりま。

支部にとつて、もう一つ大きな存在であるのが、五名の女性メンバーです。女性だけで勉強会を行ない、支部会活性化のための提案を日々いただいています。今年度も全員で切磋琢磨しながら活動していきたいと思っています。



新座支部
支部長 山口 六男

新座支部保護司会は三〇名の会員で構成し更生保護・犯罪予防活動に取り組んでいます。朝霞地区保護司会の研修会・新座支部の自主研修では担当保護司がテーマを考え、ケース研究・福祉団体・新座署生活安全課の講演及び保護活動における不安、悩み等についての意見交換を行っています。新座支部では、犯罪予防・薬物乱用防止の冊子を市内で開催される行事「新座市福祉フェスティバル・新座市民まつり・平林寺半僧坊大祭」に参加し啓蒙活動を実施しています。会員も各団体の依頼を受け、地域での非行・犯罪防止講演などで活躍しております。年二回中学校で、朝の登校時に「心の声かけ運動」に参加し、七月には社会を明るくする運動を更生保護女性会の協力をえて新座駅・志木駅にて啓発物と新座の水のペットボトルを配布し、そ

の後合同反省会を開催しました。また、市長を交え毎年意見交換及び懇親会を行っております。会員の研修と親睦を兼ね一泊で更生施設見学も実施しています。老人介護施設での社会貢献活動にも取り組んでいます。更に、各中学校区において学校評議員・地域福祉推進協議会・ふれあい連絡協議会・南部教育事務所によるいじめ・非行防止学校支援推進から委嘱を受け、依頼された保護司が会議に参加情報・意見交換を行っています。



活動REPORT

新座支部 塩島小夜子

保護司を引き受けて、早、17年になります。中でも、対象者から「大学を卒業しました」「結婚しました」「工場長になりました」又、正社員になり、初めての給料で食事を御馳走になったこともありました。観察中は、家庭の問題、自分自身の問題等、いろいろあります。又、嬉しい報告を聞くと、面会時に話を聞いてなんとか力になってあげたいと思いやってきたことは良かったと思います。逆に、力になれなかった時には、気持ちが落ちこんだり、考えさせられました。

昔の話になりますが、本人と家族との間がぎくしゃくしている対象者が、保護観察が終ると、また同じ事件を起し刑務所に入り、保護観察になってしまいました。本人に理由を聞くと、私と離れたくないと言われました。それからは、保護観察が終っても近くのおばさんとして、お茶ぐらいなら、付き合いますからと言って、保護観察を終りにしました。二度と同じ事件が起きない事を願っています。

和光支部 東 洋子

保護司になって初めての保護観察対象者は18才の1号女子でした。女子高在学中に妊娠し誰にも相談出来ずにいた。月日が経過した結果、入院して堕胎した事を話してくれました。その影響なのか高校卒業時学校からは就職を世話してもらえなかったそうです。パートとして働きはじめたが、職場になじめず居酒屋を手伝ったりして、後に時給の高いホステスになった。客の男性と親しくなり二人で覚醒剤を使用するようになった。男は実は自称暴力団員で、お金を稼ぐように要求され暴力も振るわれ借りてもない借用書を書かされたり怖い思いを経験した女子でした。

その後再犯することもなく医院の受け付けの仕事をするようになった時に解除になりました。開始から13ヶ月でした。対象者に対しひたすら聞く事を心掛け、一緒に考え自ら答えを出すのを見守りました。本人が決めた事は家族の反対がなければ賛成しました。本人が解除で保護観察を終了した事で自信をもって生きてくれる事を願いました。

更生保護サポートセンター活動報告

サポートセンター長 近藤 勲

平成二十八年二月十六日、朝霞地区更生保護サポートセンター（以下「サポートセンター」という。）が開設しました。

サポートセンターは保護司活動に対する支援や犯罪予防活動などを行なう拠点です。

十一人の保護司が企画調整保護司として交替で駐在しています。

サポートセンターの機能と活動例

一、保護観察、生活環境の調整等についての処遇活動への支援。

①面接場所の提供、②保護司同士による処遇協議や情報交換

二、地域の関係機関・団体との連携の推進

サポートセンターの利用・活動状況

利用・活動状況	年度	27年度 2～3月	28年度 4～3月
朝霞地区保護司		45	174
さいたま保護観察所		2	7
対象者(面接)			19
更生保護女性会		3	26
市・社協等行政関係		6	37
関係団体			5
総務・研修・犯罪予防部会			62
運営委員会・連絡調整会議			59
その他		1	5
計		57	394

電車

東上線朝霞台駅北口、武蔵野線北朝霞駅東口下車・徒歩20分

バス

朝霞台駅北口、北朝霞駅東口から市内循環バス・わくわくドーム下車すぐ

車

朝霞市総合福祉センター駐車場(無料)が利用できます。

案内図

三、女性保護の会等の更生保護団体と連携した社会参加活動。

四、犯罪や非行・いじめに関する、地域住民の相談への対応

サポートセンター所在地と運営内容

朝霞市大字浜崎五十一一番地

朝霞市総合福祉センター・一階

電話・FAX

〇四八―四八五―八八―

開所日 火曜日から土曜日

時間 午前十時から午後四時

※予約により午後七時まで開所

三号観察について

朝霞支部 須田 忠夫

彼は薬物事犯として三度目の保護観察で、年令は四十六歳、働き盛り。生活環境調整を済ませ引き受け人である母親の元へ帰住しました。発端は仕事の行き詰まりから薬物に手を出してしまったそうです。毎月の来訪はきちんとあり、施設内での仕事の話、失効した自動車運転免許証、今後の生活の話しながら推移しました。

仕事においては、以前からの知人の所で建物の足場組み立てを行なうことになり、数ヶ月はこの様な状況が続きました。幸いにも彼は器用であり色々な資格を持っていたので知人から建物の基礎工事を

執行猶予四年の対象者Uは、同一年。過去に色々な犯罪歴を持ち、反社会的組織上がりで入れ墨まで入っている。生活保護を受け仕事を探している矢先、放置自転車で夜食を食べに行き職質から拘留され、家族が誰もいないので警察へ払い下げに行く。

現在の就職難の為なかなか仕事が見つからずにいたが、ようやく仕事に就いたと思ったら、初日に遅刻し即クビになる。その後運送

会社勤め、生活保護も解除し、自分だけで暮らせるようになり三年が経過した時に、会社でトラブルを起こし、先輩から非難され、無断欠勤し、行方不明となる。残り一年の保護観察期間であった。その後池袋で見つかり、転居し担当代えとなったが、同一年で話しやすく、とても打ち解けていた対象者との信頼関係が気付けてなかった自分の力量不足を痛感させられた。

四号観察

志木支部 田村 成彦

彼は薬物事犯として三度目の保護観察で、年令は四十六歳、働き盛り。生活環境調整を済ませ引き受け人である母親の元へ帰住しました。発端は仕事の行き詰まりから薬物に手を出してしまったそうです。毎月の来訪はきちんとあり、施設内での仕事の話、失効した自動車運転免許証、今後の生活の話しながら推移しました。

仕事においては、以前からの知人の所で建物の足場組み立てを行なうことになり、数ヶ月はこの様な状況が続きました。幸いにも彼は器用であり色々な資格を持っていたので知人から建物の基礎工事を

第63回 埼玉県更生保護大会表彰

日時：平成28年11月18日(金) 12月30分～15時30分

場所：さいたま市民会館おおみや大ホール

受彰者 23名(敬称略)

全国保護司連盟理事長表彰

朝霞支部／抜井由美子 志木市／濱岡 早苗

関東地方更生保護委員会委員長表彰

新座支部／大竹 敏雄 新座支部／萩原 富雄

新座支部／荻原 洋志

関東地方保護司連盟会長表彰

志木支部／牛飼 民代 志木支部／細田 和子

新座支部／金子 敦則

埼玉県保護司連合会長表彰

志木支部／青木 英和 志木支部／志村 昭二

志木支部／内田 修央 新座支部／尚 貴志子

朝霞支部／大畑 茂 朝霞支部／高橋悦次郎

朝霞支部／金子 晃巳 新座支部／高橋 克安

新座支部／作田 敦子

叙勲・褒章受章

朝霞支部／岩島 健太(平成27年秋・叙勲)

志木支部／濱岡 健夫(平成28年春・叙勲)

朝霞支部／近藤 勲(平成27年秋・褒章)

法務大臣表彰

和光支部／東 洋子

和光支部／加山 茂夫

志木支部／田村 成彦